

上下水道一体部門

応募事例名

利府町上下水道事業包括的民間委託
(上下水道ウォーターPPP レベル3.5の導入)

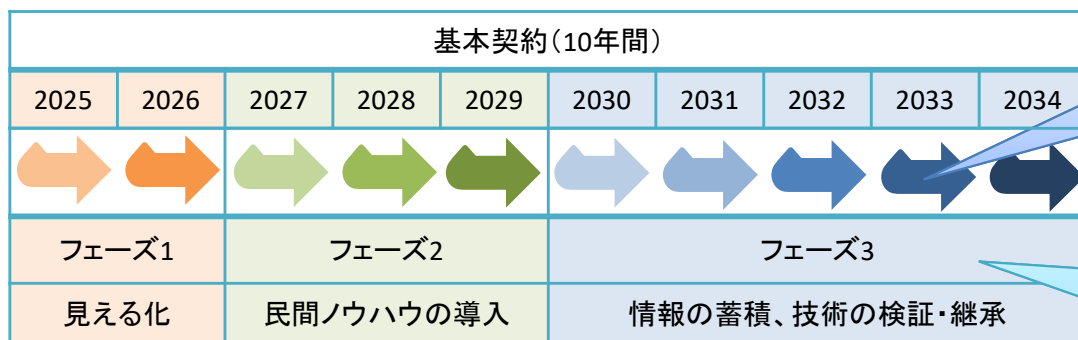
応募団体名)利府町

応募事例の概要

○上下水道事業が抱える様々な課題に対して早期に取り組み、町民の生活に直結するライフラインを持続可能とすることを最優先とし、官民が連携し取り組む事業スキームとして「管理・更新一体マネジメント方式」(レベル3.5)の更新支援型が最適解であると判断し、速やかにウォーターPPP事業の実現に向けた取組みに着手しました。

応募事例の内容

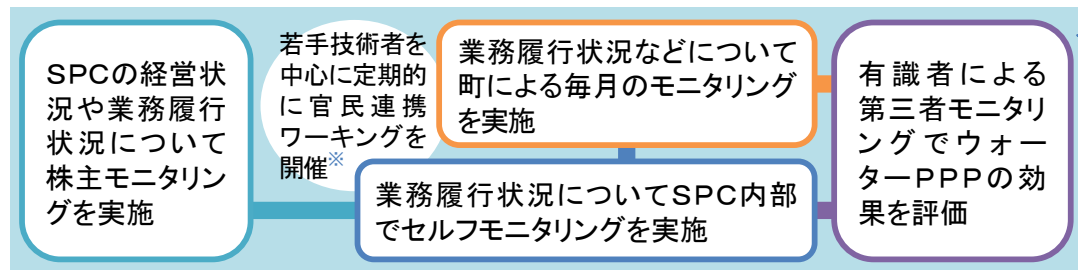
10年間の基本契約と毎年の実施契約を締結するスキームを採用



- ・事業計画を毎年ローリングして最適化
- ・契約期間中の条件変化に柔軟に対応

- ・フェーズ設定で各段階における目標を明確化し、共有することで、官民連携の高度化を実現

充実したモニタリング体制と官民連携ワーキングで業務水準の向上と技術継承



- ・性能発注における業務水準確保のため、充実したモニタリング体制で継続的な評価、改善活動を実施

- ※官民の連携体制を醸成するとともに、業務水準の向上や技術継承を目的に活発なディスカッションを実施

PRポイント

ウォーターPPPの導入にあたり、今後の官民連携体制の強化を見据えた方針として、要求水準書にフェーズ設定による段階的な目標を明示し、保有する財産や培ってきたノウハウを包括委託に引き継ぎながら整理を行うこととしました。まずは、これまで町で実施してきたすべての業務の見える化などを“フェーズ1”の2年間でを行い、次の3年間では最適化や効率化に向けた議論や実践を行います。残る5年間はこれまでの実践を続けながら次期計画に向けた検証を行うもので、フェーズで区切り、事業の進め方や目的を明確化し、民間ならではの創意工夫による効率的な事業計画の提案がなされるよう工夫したものです。

取組みに関するエピソード

多くの皆さまのご指導、ご支援そしてご協力を得ながら、利府町上下水道事業包括的民間委託を無事スタートさせることができました。

今回の業務は、これまでの同種同規模の包括委託よりも、性能発注としての方向性が明確で、民間のノウハウや技術を導入しやすく、創意工夫により、これまで以上に効果的なサービスの提供が可能だと感じています。

この業務での取り組みが、同様の課題を抱える事業体にとって参考となるモデルケースになるよう今後も取り組んでいきます。

上下水道部上下水道課
課長 鈴木崇裕